

新型コロナウイルスに関する弥栄の郷の考えについてお示しします。

まずは、考え方についてお聞き頂きたく存じます。

長文、お許し下さい。

★新型コロナウイルスの脅威

最初に新型コロナウイルスが日本に入ってきたのが2020年1月初旬と言われており、その後、瞬く間に、感染拡大し、変異を繰り返し、全国へと広がっていきました。

著名人をはじめ、多くの方の感染が報道され、日本中の医療機関が逼迫し、多くの大切な命を奪う事態が現実的となっていきました。未曾有の事態に世界中が不安と恐怖に苛まれる中、新型コロナウイルスに関する情報が錯綜し、国の機関をはじめ、専門家ですら明確な情報を発出出来ない状況となってしまいました。

そんな中、高齢者の命や生活をお預かりする弥栄の郷としてどうあるべきか、命を守る生活施設としてどうあるべきか、見聞きしたこともないウイルスから、入居者様や職員を守る為に必要な事は何か…悩みに悩んだ、3年だったと振り返っております。

今や、【コロナに感染した】という言葉は、以前ほど、珍しいものではなくなってきており、同時に療養期間の短縮にはじまり、5類相当への引き下げについての議論が行われるようになって参りました。ただし…弥栄の郷に入所されている皆様は、ご高齢の上、基礎疾患をお持ちの方も多く、世間と同じ感覚で捉える事は決して出来ないと考えております。制度や法律が変わっても、ウイルスそのものの感染力や、感染した場合のリスクが軽減される訳もなく、やはり慎重にならざるを得ないと考えております。ある方から、真面目に検査をするから陽性が出るのではないかと、弥栄の郷は厳しすぎるねえと言ったお声を耳にする機会もございますが、50名の命をお守りする覚悟を持って関わらせて頂いている以上、生半可な気持ちでコロナや他の感染症と向き合う訳にはいかないと考えております。

そういった観点から、ご面会の中止を含め、お一人でも感染確認された場合は、他の49名の方が感染されていると想定した対応を行っている事をご理解頂ければ幸いです。

現状と致しまして

◆新型コロナウイルスワクチン4回目、5回目接種について

90%程度の方が、昨年中に接種完了しており、職員につきましても希望者全員の接種を完了しております。ワクチン：入居者の皆様、職員共に、ファイザー社ワクチンを使用しております。

★感染していない状況下での感染予防対策

- ・職員につきましては、3日に1回の抗原定性検査(鼻腔ぬぐい液)を継続中。
- ・入居者の皆様と直接関わる際は、マスク、フェイスシールド、又は、ゴーグル、必要時の手袋着用。
- ・食事については、可能な範囲で距離を確保し摂取頂く(短期入所サービスの方と、接種場所を別けて対応)
- ・発熱などへの対応につきましては、Drへの連絡、抗原検査の実施、必要時には、インフルエンザ同時検査のキットを用い、居室でのカーテン隔離、ご家族様、後見人様への連絡、受診や救急搬送等の対応をさせて頂く。(Drの指示は状況や状態によって変化します)
- ・訪問歯科や理美容については、どちらも生活に欠かせない大切なものである事から、入館前の抗原検査実施後、陰性確認の場合のみ入館頂く。
- ・その他、新規ショートステイやデイサービスご利用者様の受け入れにつきましては、状況により、抗原検査の実施、陰性である事を確認した後のお受入れとさせて頂いております。

今後、様々な事があろうかと存じますが、入所時にお話しさせて頂いている【嘘をつかない、正直に】をモットーに関わらせて頂きますので、今後とも、よろしくお願い致します。(当たり前ですが)